

バーチャルサービスを使用した支援に向けて 活動レポート

for all product × cluster

2020.08 - 2020.10

はじめに

for
all
product

株式会社フォーオールプロダクト

私たち『株式会社フォーオールプロダクト』のミッションは、働くことを生き甲斐に感じられる世界の実現です。利用者の皆さんが生き甲斐を感じられる仕事に就くことができるよう、日頃の訓練を通じてしっかりとサポートをしていきます。私たちの支援の特長は、そのきめ細やかさにあります。ひとりひとりの希望に寄り添い、身に付けるべきスキルを磨き、面接に向けては、本来の力を十二分に発揮してもらえるよう、模擬面接にも力を入れています。事業所としては就職がひとつのゴールではありますが、利用者の皆さんにとっては、そこからがまた、新たなスタートとなります。仕事を通じて人や社会とつながる喜びや楽しさを感じ、できるだけ長くそれを味わえる人生を送っていただけるように。私たちとのつながりにも喜びを感じてもらえる、そんな就労支援を目指して、日々活動をしています。

関連事業

MINATOMACHI FACTORY

障がい者の仕事と雇用を創り出すためにオープンした MINATOMACHI FACTORY(ミナトマチファクトリー)。様々なクリエイターやデザイナーとコラボしながら、商品の企画・開発から、デザイン、製造、販売まで一貫体制。プロジェクトごとにチームが編成され、製品の売上げに応じて収入が得られる仕組みは、働く人のやりがいにもつながります。また、プロジェクトをビジネス化することで、他者の雇用機会を生み出すことができるので、自ら仕事を創り出すことの喜びや、社会との関わりを実感できる仕組みとなっています。デザインを媒介として、人と社会がつながる仕組みを、私たちは構築しています。



佐世保布小物製作所



佐世保布小物製作所

事業所内で利用者さんが描くイラストを商品として活かさないか。そんな職員たちの想いから『佐世保布小物製作所』は生まれました。その名の通り、布小物作りを中心とした事業所で、縫製を基礎から学べます。同じB型事業所である『ミナトマチファクトリー』でデザインされたものを、商品として完成させるのが、『佐世保布小物製作所』の役割です。

ホットライフ

障がいや難病を抱えている方が就労と向き合うための訓練や就職活動の支援を行っています。訓練の柱に「デザイン」を取り入れることで就職が見込まれるほか、デザイナーとして個人事業スタイルの就労環境も提供しています。



過去の事例



ふくらむプロジェクト 2019

遠隔地の事業所に向けて、デジタルファブリケーションとIoTを活用した創作活動支援とアートプロダクトの製作プロジェクト。
全国の福祉事業所の創作活動と商品開発の協業と支援に取り組む。



△試行事業実施事業所 LVILLAGE

Tiktok 支援 オンラインアトリエ試行事業

試行事業実施事業所 LVILLAGE との共同事業。
新型コロナウイルスの影響で、芸術文化活動の場に参加することができなくなった障害のある人たちが、自宅待機や外出制限の状況下でも創作活動を行うためにオンラインツールの活用支援を含めたオンラインアトリエ活動の支援環境のあり方を社会へ提案&発信する試行事業。



通信教育プログラム

オンライン環境を活用した教育プログラムを提供。訓練にIoTを取り入れた高校卒業できるコンテンツを提供。



エイブル・アート・ジャパン

エイブル・アート・ジャパンは、障害のある人をはじめ、さまざまな人たちと共に、自由に表現すること、発表すること、販売すること、作品や舞台などにアクセスするための機会をつくることに取り組んでいます。プロジェクトは、これらの事業のうち、今、時代が必要とすることを実施するものです。

<http://www.ableart.org/>

バーチャルビジネスマナー講座

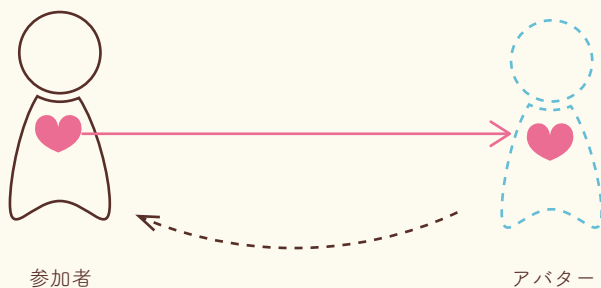
概要

「cluster (クラスター)」というバーチャルSNS サービスを利用して、バーチャルビジネスマナー講座を開設しました。アバター(※)を使用してバーチャル空間にはいり、家にいながら遠隔で講座を受けることができます。導入から講座まで実際に体験してみることによってバーチャルならではの良さ、悪さ、今後の可能性について検討します。

※ アバター：バーチャル世界の中に登場する自分自身の「分身」となるキャラクター

バーチャルサービスを使用した支援に向けて

当事業所に通う方は様々な特性や事情があり、集団行動の向き不向きが見られます。社会人としての必要なスキルの一つであるビジネスマナーを学んでいただくために、通常であればリアルな会場で開催する講座をネット上で、しかも自分の顔は出さずにアバターで参加できるこの空間は最適だと感じました。スマートフォンやタブレット端末を日常的に操作している方が多く、気楽に受講が可能です。着替えたり化粧をしたり部屋を片付けたりしなくても自由なスタイルで参加できる。少しでもみなさんの心の負担を軽減していただき、「リアルに受講をしてみたい」というきっかけ作りになればと思っています。



cluster

「cluster (クラスター)」は、スマートフォンやPC、VR 機器など様々な環境からバーチャル空間に集ってイベントに参加したり、セミナーやVR ゲームなどのコンテンツを楽しむバーチャルSNS です。

企業様のご要望に応じて、オリジナルの会場・アバター・演出等の制作、高精度のモーション収録、企画制作～配信スタジオ運営等のオペレーションに至るまで、ワンストップで提供します。

(<https://www.biz.cluster.mu/>)

プロジェクトの流れ

8.

August

27.

代表石丸より、バーチャル空間でのビジネスマナー講座開設の話があり、プロジェクトがスタート！

31.

cluster を初体験♪ iPhone を使ったゲームの経験がなく、全く動けずうろたえました。10月中旬を目処にイベントを行うことを決定。訓練生のIさんが、Word の学習も兼ねて参加マニュアルを作成してくれました。



△ PC からアクセスしている様子

▽ アプリダウンロード画面



△ スマートフォンでアクセスした際の画面。

9.

September

08.

訓練生1さんとワールド制作に着手。clusterでワールドやイベントを行う上での仕様など具体的な課題などが浮き彫りになりました。

18.

テストイベント作成。職員2名、訓練生2名が参加。会場を回り、問題なく駆け回ることができました。他のギャラリースタッフも好感触。本イベント参加者へアプリケーションをダウンロードするようお願いしました。

25.

訓練生1さんをお願いをしていたマニュアルが完成。訓練生及びスタッフに、イベントの説明とアカウント作成のお願いしました。
(全く興味を示してくださらない方2名)



△ PCでの操作チェック



△ スマートフォンを使って操作してみる



△ 自分のオリジナルアバターを試してみる

10.

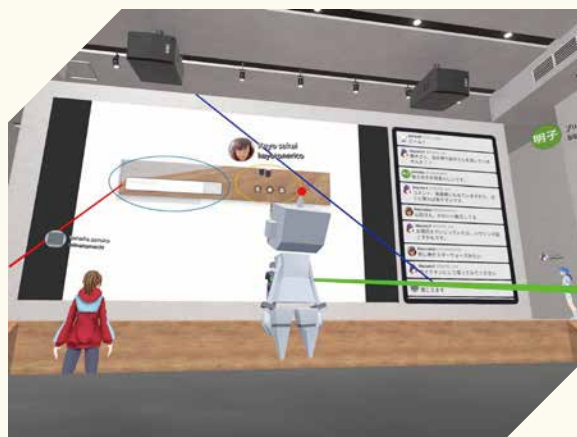
October

07.

職員向けにテストイベントを行いました。各自アカウントを作成しておくように頼んでいましたが、業務で使用している Gmail で1名がアカウントを作成。他3名も同じことを考えていたらしくイベント中に大混乱しました！コメント、エモーションを上手に使いこなす職員もいれば、全く身動きができない職員も。最後に全員にゲスト権限を与え、登壇して指示棒を使ってもらい、大盛り上がりで1時間を終えました。



△ テストイベントの様子



指示棒機能を使ってみる▷

13.

10時30分より第一回 cluster イベントを開催。ビジネスマナーの基本の話をしました。参加者は12名（内在宅2名、職員2名）。みなさん各自の机上でスマートフォンやノートパソコンを使い、定刻にサクッと入場。一方講師は、通常とは勝手が違い、やや混乱しましたが、参加者のリアクションも頂けて講座を進めることができました。指示棒は時々使えましたがその他の動きができず、立ちすくんだままの状況に...



△ 講座の様子



△ 講座終了後に自由に遊んでもらいました

参加して下さったみなさんの感想



就労移行支援 訓練生 Iさん (男性)

難病指定疾患。ゲームやPCは一通り使える。Unityやblenderも使用経験あり。参加者用に取扱説明書を作成していただく。当日は体調不良のため欠席。

cluster使ってみて、黙って聞いておくだけで物足りなさを感じました。エモーションがもう少し増えるといいかも。講座の中でも、物をつかんだりができたらいい。とにかく動きたい。コメントが小さくて見にくい。参加者の誰が話をしているのかいまいちわからない。個人でclusterの紹介をわかりやすく動画にアップしている方が多い。そんなのが公式にあって欲しい。

しかし、ゆるゆると動いてくれるのでとてもストレスなく使えた。

就労移行支援 訓練生 Kさん (女性)

発達障害。ニコ動で踊ってみたをアップしている。ゲーム好きでもあるためにイベント会場を難なく走り回っていた。今回のイベントは黒画面に白文字が見え辛かったとのこと。(彼女の特性)

とても新鮮だった。いつでもどこでも参加できるので便利。ありだと思う。バーチャル文化祭やってみたい。パワポの発表会やライブアート、自分の障害について語る等。(ツイキャスでやっている)動画付きでハンドメイドと一緒に作ったりもいいかも。カスタムアバターで入れるようになって欲しい。



就労継続支援B型 スタッフ Sさん (女性)

発達障害。通所が困難だったがコロナで在宅就労が始まり威力を発揮。ゲーム大好き。アバター作成をしておりイラストも描ける。clusterで使用できるアバター作成についても彼女から情報を得ることができた。(VRoid)

アバター越しなので、個人的にコミュニケーションが取りやすく、楽に参加できました。ぜひまた参加したいと思いました。気になったことは、これからの講座の内容と開催頻度です。

就労移行支援 訓練生 Fさん (女性)

身体障害。ネットで活躍している某男性アーティストが大好き。最近はWordでチラシ作成をするための練習をしている。REALITYですぐにオリジナルアバターを作った。

なるほど!と思った時にリアクションができるので眠らなくてよかった。もっと他のリアクションがあれば楽しそう。自分のiPhoneでは画面のPDFが出てこなくて真っ白。音声のみだった。次回は画面も見たいので始まる前に画面や音声のチェックを促したりと事前準備の時間をとってくれるとありがたい。



講師 福田 真弓



令和2年3月入社。元パソコンインストラクター。WordやExcelをはじめとしたオフィス系ソフトやビジネスマナー関連講師を職業訓練や企業向けに行っていました。（企業向けは現在も継続中）ゲームは苦手な走りかジャンプするかのどちらかしかできないけど考えながら動くのが得意。立ち止まったり振り返るのが嫌い。喋ると言われたらずっと喋ってられる。

突然バーチャル空間での講座をやってくださいと代表に言われ、よくわからないがなんとかなるだろうと引き受け実際になんとかなりました。clusterは誰もが簡単に楽しめる空間。人前が苦手な人でも生き生きと活動できる最高の場所だと思います。今後はワールドを作成して楽しみながら学習できる場所づくりをしていこうと思います。今回の講座は「楽しかった」「次はいつですか」という声が多かったので、最低でも月に一度は開催していこうと考えています。次回の講座は参加型を計画。

hot life サービス管理責任者 矢地 律子

物珍しかったです。動き方が分からずぐるぐる回ってしまい進めたいと思ったら行きたいところに行けずで、慣れるまで時間がかかりました。コメント入力をやってみましたが、あつという間に流れていくので自分が書いたものが追えずでした。自由に入れるし背景などを気にしなくてよいくらいからweb会議より参加しやすかった。時代の最先端をいってる感じがしてとても楽しかったしカッコいいと思った。



minatomachi factory 支援員 田中 聡子



スマホから参加しました。遠隔でも講義をリアルタイムで受けることができ、非常にわかりやすいと感じました。初めて操作するスタッフもいましたが、操作方法に慣れるとコメントやリアクションもすぐにできてました。スマホだと画面が小さいため、コメント部分や画面上での資料だと見づらい部分があると思います。話すのが苦手な方、感情が表に出にくい方もゲーム感覚で参加しやすく、非常に魅力的に感じました。

minatomachifactory サービス管理責任者 中島 千晴

ツールの一つとして良いと思いました。スマホで利用したので文字が小さく見づらく感じました。動きがぎこちなくなりましたのでスムーズに出来る方法を知りたいと思いました。スタッフが操作しているのを見たいです。（走り回っていたので）普段あまり見られないみなさんの一面が見ることができそうで楽しそうです。



ブランディングマネージャー 坂井 佳代



スタッフにはコミュニケーションに不安のある方も多いが、アバターで参加するということで普段より発言がしやすいようです。新しい1面がみれました。ゲームをされる方も多いので操作方法や、表現の仕方にも抵抗がないようでこれからの新しいツールとしての可能性を感じました。自宅にいながらいろんなところと繋がるのが新鮮でした。

その他の意見など

参加者さんの反応が見たい！

スクリーン横に立って話していると参加者それぞれ、誰がリアクションしているのかが確認できませんでした。次回は参加者側の視点も見ながら講座したいです。

いろんなリアクションがほしい！

登壇していると参加者のリアクション（拍手、いいね！など）はとても重要でした。リアクションの種類がもっと増えるとさらに盛り上がると思う！

身振り手振りも？

今回は、PCを使用して講演をしました。講演中身振り手振りがあった方が話しやすく、内容も伝わりやすいように思います。次回はVR機器を使って挑戦したいです。

ワールドやアバターの制作をお仕事に！

アバターやワールドを作ることに興味を持たれる方もいらっしゃいました。今後アバターやワールドを販売することがお仕事になるかもしれません！

アバターをみんなに見せたい！

セミナー機能では、アバターは表示されず、残念がる利用者さんも多かったです。カスタムアバターを作成や、アバターを使った訓練も効果的かもしれません。

使う機材のサポートしてほしい！

受けた質問スマートフォンでclusterアプリがストアに出てこない方もいらっしゃいました。誰でも参加できるように、サポート体制が必要です。

録画機能がほしい！

朝が苦手な人、昼参加が難しい人、予定が合わないことはもちろん、お薬の関係など決まった時間で参加することが難しいことが多くあります。録画してアーカイブすることでいつでもセミナーに参加できるとより多くの方が参加できそうです。

声で質問したい！

セミナー中のチャットは可能ですが、文字を入力することが苦手な方もいます。今後は、参加者も発言できる仕組みを取り入れて欲しいです。

今後に向けて

昨今の新たな働き方が求められるなかで、バーチャルサービスはその手段の1つとしてさらなる展開が期待されます。バーチャルサービスは、リアルとは違うこと、まだまだできないことも多くあります。反面、リアルではないからこそその入りやすさや、遠隔だからこそできることも多くあります。活動をしていくことで、ノウハウを蓄積し彼らの新たな道の1つとなればと思います。